

AG5

## 補習授業校情報交換会 #28

## "ごほうび"の使い方

## 各地の開始時刻

## &lt;6月20日&gt;

アメリカハワイ	11:00AM
アメリカ太平洋	2:00PM
アメリカ山岳部	3:00PM
アメリカ中部	4:00PM
アメリカ東部	5:00PM
英国ポルトガル	10:00PM
仏・独・北欧等	11:00PM

-----  
<21日>

タイ・ベトナム等	4:00AM
シンガポール・中国	5:00AM
日本時間	6:00AM
キャンベラ	7:00AM
ニュージーランド	9:00AM



## 本日の予定

1. 具体例の紹介
2. 意見、情報交換

\* 終了後、15分間の「自由懇談」の時間を持ちます。ご希望の方はご参加ください。

◎ これからの情報交換会（リクエストは、ag5nsassa@gmail.com 佐々まで。）

## #29 「楽しい話、聞かせたい話」

アメリカ東部時間 7月25日（日）午後5時 / 日本時間 7月26日（月）午前6時

## #30 「デジタル教科書と、使えるIT」

アメリカ東部時間 8月22日（日）午後5時 / 日本時間 8月23日（月）午前6時

## ◆ 情報交換会の録画について

スタッフの反省材料とするため、ミーティングを録画しておりますが、それ以外の目的でお見せすることはいたしません。ご理解をお願いいたします。

## ◆ 出席者と連絡を取りたいとき

ご希望をお知らせください。相手の方の許可がいただければ、メールアドレスをお知らせします。

## ◆ こちらもごらんください

過去のAG5 補習授業校情報交換会資料 <https://www.ag-5.jp/post>

ウェブサイト <https://www.ag-5.jp>

補習校教員交流 Facebook <https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

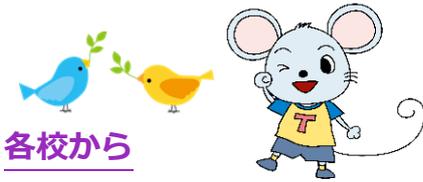
海外子女教育振興財団（JOES） <https://www.joes.or.jp>



## ここが聞きたい



- ・オンラインで「がんばったご褒美」どんな形であるのが喜ぶますか。年齢に応じてアイデアいただけたら嬉しいです。
- ・「ごほうび」は中学生にも有効かどうか、有効なら何をどのように与えるか、もし実践してある方がいらっしゃったらお聞きしたいです。
- ・ご褒美のために学校で予算を組んでいますか。
- ・どんなごほうびを、どの様に使うのかお伺いしたいです。
- ・ご褒美の種類や使い方を知りたい。（タイミングも知りたい）
- ・ご褒美を与えすぎると（褒め言葉も含む）、ご褒美中毒になり、外的要因で動く自主性のない子供になるという警鐘が鳴らされてもいます。「～したら～をあげる」というご褒美はやめた方がいいのでしょうか。
- ・小さいうちはごほうび効果がありますが、負の側面（マイナス効果）を知りたいです。ごほうびのインフレ、ごほうびがもらえないと取り組まないなど？楽しみにしています。よろしく願いいたします。



## 各校から

### ♣ミュンヘン \*\*\*\*\*

すごく普通ですが、プリントにシールを貼る、ノートにスタンプを押す、ぐらいでしょうか。

(渡部 操織)

### ♣ビエンチャン \*\*\*\*\*

オンラインなのでシールや花丸をつけることができませんので、褒め言葉のシャワーを浴びせています。1分ぐらいほめて続けている時もあります。(小川 幸宣)

### ♣ダラス \*\*\*\*\*

夏休み明けも、9月中頃まではオンライン学習が決定となりました。対面授業時のように、直接がんばりをほめる(口頭やノートに花丸など)機会が少ない分、Google クラス内の個別コメント欄にがんばりを具体的にほめるように書いています。(佐藤 恵美)

### ♣カンザスシティ \*\*\*\*\*

現地校で教員をしている方がアシスタントで入ってくれて、1日頑張ったら飴のご褒美が出るというごほうびを持ち込んでくれて、即効性がありました。しかし、兄弟姉妹のいるご家庭の保護者は、迎えに来たら1人だけ飴をなめていて、他の子供たちが羨ましがっているという状況に困ったようで、評判は良くなく、このご褒美は廃止されました。(浜田 佐知)

### ♣グリーンビル \*\*\*\*\*

年に1度「特別活動」という全校行事で6年生は百人一首のカルタ取り大会をします。その時に優勝チームのそれぞれに何か、札の獲得数が一番多かった児童に個人賞、負けたチームには参加賞を渡しています。中身は、ハイライターや赤ペン、スティックのりなどお手軽な文房具です。

(スコット恵子)

### ♣カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 \*\*\*\*\*

#### ◎ご褒美について

子ども達が何かを達成したときに、それを可視化するという意味で何等かの褒美をあげることは、現地の学校でも土曜学校でもよくあることだと思います。何をいつあげるかが問題となるのではないのでしょうか。

まず、学期の初めに、子ども達にこういう時にこれをあげますという約束事をはっきり取り決めておくことが大事だと思います。その「こういう時」というのも、具体的に低学年だとクラスのルールを守れたとか(ルール面)、他の子を助けた(情緒面)とかグループで一緒に学習出来た(協同

面)、宿題を毎回出したなど、先生が担当される子ども達をよく見て、何が必要かを判断し、子どもにわかるように伝えることが必要だと思います。つまり、子ども達がなぜご褒美をもらうのかをはっきりさせておく必要があると思います。

何をあげるかですが、子ども達が欲しいものはそれぞれに違い、また値のほるものは予算もなく、かつそのような高価なものは必要ないと思います。私はダイソーで買える消しゴム・鉛筆などの文房具、ステッカー、キャンディー、パズルなどの「物」や、物にかぎらず「10分」自分の時間」券などを学期はじめに子ども達に紹介して、大きなバスケットに入れておきます。そして、子ども達が約束したことができたなら、クーポンを1枚あげ、それが10枚たまったら、このバスケットの中から好きなものを選べるという風にしていきます。クーポンは、教室の目につく壁に子ども達の名前を書いた表を張り出し、そこに貼っていきます。みんなが見えるようにしておくことで子供達も自分が今どこにいるかがよくわかります。10枚たまってご褒美を選んだら、その子はまたゼロからの出発です。オンラインの授業では、教室に表を張ることがむずかしいですが、スクリーンを子ども達と共有して、ご褒美の表を見せ、そこに先生がクーポンを貼るところをみんなで見るといいのではないかと思います。対面授業になったときに、クーポンが10枚たまった子ども達には、ご褒美を選ばせてあげてください。これを楽しみにしている子ども達がたくさんいると思います。

お菓子もご褒美に入れてもいいと思いますが、お菓子ばかり頻繁に出すと、保護者からうちの子どもはペットや動物ではないので、食べ物とは与えてほしくないという苦情が来たという先生もいました。低学年は、物のほうが理解がしやすいと思いますが、学年があがるにつれ、物からものでないもの(例 10分の自由時間や、宿題を一つ減らすなど)や、言葉によるフィードバックに移行するのがいいのではないかと思います。(ダグラス昌子)